



児童発達支援 事業者向け自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			現状では十分なスペースが確保されている。	今後、状況に応じて再構造化をしていきたいと思ひます。
	2	職員の配置数は適切であるか	3			必要な人数の配置をしている。	利用児の数に応じて今後配置の増員もあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1		<u>車椅子が通るには狭い場所もある</u>	トイレがギリギリ入れない状況があります。検討をしていきたいと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			清掃チェック表等を用い、抜けないように清掃を行っている。	今後も各スタッフが役割分担のもと環境整備を行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			携わる業務は職員によって異なる	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3				アンケート評価は今年度初の取り組みとなっています。スタッフの気づきと共通している件もあり、その都度改善するようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2			今年度初めての取り組みとなっており、今回公表させていただいています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2		外部評価は行っていない。	

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		法人にて2カ月に1回研修を行っている	保護者から専門性を求められていることが多いです。自己啓発活動は今後も継続していきます。また、こういった情報を積極的にお伝えしてしていきたいと思います。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		アセスメントは職員によって技量差がある。相談支援事業所からの計画をもとに、保護者のニーズや課題に沿った計画を考える流れはとっている。	スタッフ責任者のもと、レクチャーしながらアセスメントを実施しています。客観的評価の為、人によってばらつきが出ないように、マニュアルも作成し、工夫をしています。経験の浅いスタッフに関しては、アセスメント場の積み重ねが必要になります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		アセスメントツールは標準化されたものを使用している	太田ステージ、心の理論、乳幼児KIDS、人との関わりパルットを活用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		具体的な支援内容を設定するよう努めている。地域支援については、地域のニーズを把握し地域にそった支援を模索中である	ガイドラインの再周知を行い、大事なポイントを共通理解できるようにしておきたいです。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		計画に沿った支援は必須であり、徹底している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	立案はスタッフ責任者が行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1	同じ活動を繰り返し取り組むことも必要な場合がある。	固定化＝「継続的な取り組みによりスキル定着をさせる」という意味では固定化を大事にしていきます。ただし内容自体はねらいによってだんだんと発展していくものと考えます。お子さんの興味関心に沿った活動を今後も立案していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3		療育の軸として個別活動、小集団活動は必ず実施している。	つむぎは個別活動、集団活動を療育軸としています。今後も継続的に取り組んでいきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		3	重要な点のみスタッフ責任者から確認しているが、毎日行っていない。	現場でその都度、即座に必要なコミュニケーションがとれています。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3		利用児の様子についての報告・確認はしているが、職員全体で共有する時間を毎日では設けられていない。	スタッフ責任者は全体を把握しています。個々からあがってきた情報は責任者から全スタッフへ発信していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1		記録はとることができている。スタッフが困った際にはスタッフ責任者と検証の話し合いを行っている。	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			6か月をめぐりに見直しを行っている。要望・必要があれば早めに見直しを行う。	引き続き6か月ごとの見直しを徹底していきます。早い見直しが必要と判断される場合は臨機応変に対応します。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			スタッフ責任者が出席している。	関わりのあるスタッフが参加していくようにしていきたいと思えます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3			保健師さんとは定期的に連絡をとるようにしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			保護者のご希望により実施します。	これまで幼児期に療育を終了して園のみに通われたお子さんはおられません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と	3			保護者の同意により、2~3月に必ず実施している。	移行支援シートを保護者と一緒に作成し、共通理解をはかって移行会議に参加します。

		相互理解を図っているか				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1		会議等で連携することは多い。助言は受けていない。助言というよりは、統一的な支援のための共通理解を目的としています。医療と連携を図った場合はアドバイスをいただきたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	ほとんど機会がない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			<u>お迎えの際に報告しているが、送迎を利用されていたりお迎えが祖父母のことも多かったりと共通理解には至っていないと感じている。</u> お迎えの際には児の様子を必ず報告しています。必要な場合は個別に面談を行うことを提案しています。また日頃会いにくい保護者とは面談の日程を調整していきたいです。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3			法人で行っているが、事業所からの参加者は少ない。次年度も取り組みを実施予定としています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			保護者の思いを確認した上で計画の作成を行っている。また、同意を得たうえで支援を開始している。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			6か月ごとに面談を行う。相談を受けた際には個別に面談の時間を設けている。今後もご相談事がある場合は、随時お知らせください。
	35	父母の会の活動を支援し、保	2	1		<u>2カ月に1回開催している</u> 個別に声掛けを行う等しなが

	護国会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				が、参加は少ないように感じる。	ら、引き続き開催していき、また集まれる工夫もしていきたいです。	
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			要望等を受けた場合には報告・連絡・相談を行い、対応できる体制を整えるようにしている。	今後もいつでもご相談ください。	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			通信は週1回の発行を行っている。	今後も必要に応じて発信をしていきます。保護者の方がイメージしやすい内容を工夫していきたいです。	
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3			十分注意しているが、支援に必要な顔写真カードを玄関（靴箱）に貼っている。	写真などは保護者の了承を得て使用しています。構造化上必要な写真は利用させてもらっています。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3					
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	1	内覧会は実施。 見学は行っているが、招待はしていない	講演会などの案内は出していきたいと思います。 ボランティアなどの受け入れは、外部から要望があれば、保護者の了承を得て、受け入れをしたいと思います	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	2		マニュアルがあるが、訓練は未実施である。	マニュアルを保護者にオープンにはしていません。防犯は現在作成中。感染は汚物処理など部分的にはあります。説明ができるように整えていきたいと思っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		1	2	H30.11月に消防署に来て頂き実施。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3			契約時に状況や対応の確認を行っている	てんかんは詳細を保護者に記入していただき、即座に対応できるようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			保護者に確認を行い、アレルギー食材については提供していない	

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			積極的に活用している	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			法人で研修が行われている	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		3		保護者への説明として、重要事項説明書には記入しているが、現状では該当児がおらず、児童発達支援計画には記載していない	こういった状況が予測されると判断した場合は、保護者への説明のもと、該当の方に関しては、計画書に記入をさせていただきます。

(特非) 発達支援ネットワークつむぎ H30. 9.1～